

死亡労働災害速報（令和3年12月－2）

（建設業労働災害防止協会宮城県支部）

ブルドーザーで除雪作業中、運転席から転落、轢かれる			
発生年月	令和3年12月27日（月） 19時 頃		
業 種	土木工事業	事業場規模	1～9人
事故の型	挟まれ・巻き込まれ	起 因 物	整地運搬積込み用機械
発生状況	<p>令和3年12月27日（月）午後7時頃、被災者(70歳代)は、大崎市内の土取り場内で倒れているところを発見された。被災者は、単独で、ブルドーザーにて、除雪作業を行っていたとみられ、現場の状況から、運転中に運転席から、段差等の衝撃で、前方に投げ出され、クローラーに轢かれ死亡したものとみられる。</p>		
災害原因と災害防止対策	<p>[現在関係機関で調査中のため、類似災害に係る一般的対策を列挙します。] (本件の事故原因を示したものではありません。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 使用する車両系建設機械の種類及び能力、運行経路、作業の方法について、あらかじめ作業計画を作成し、関係労働者に周知すること。 車両系建設機械の運転に関して、必要な資格を有した者を配置すること。また、有資格者であっても、危険有害業務従事者教育や車両系建設機械危険再認識教育を定期的に行うこと。 除雪エリア（走行範囲）に、崩壊の危険のある路肩や障害物・段差等がないか、事前にエリアを確認し、標識等を設置すること。特に、視界が妨げられる降雪時や夜間等では、視認しやすい表示・目印を付けておくこと。 車両系建設機械は、転倒時保護構造を有し、かつ、シートベルトを備えた車両系建設機械を使用し、運転に際しては、シートベルトを使用させること。 倉庫、土取り場等で単独で作業を行う場合は、事務所と一定間隔にて定期報告を行なわせ、異常の有無を確認すること。 		



災害イメージ:実際の災害発生状況とは異なる場合があります。